

「升潟周辺における希少植物調査及び希少植物の保全方法の提案」の概要

1 調査目的

- (1) 五十公野丘陵における植物相の現状の評価
- (2) 希少植物との共生を踏まえた公園の整備及び管理方針の検討

2 調査内容

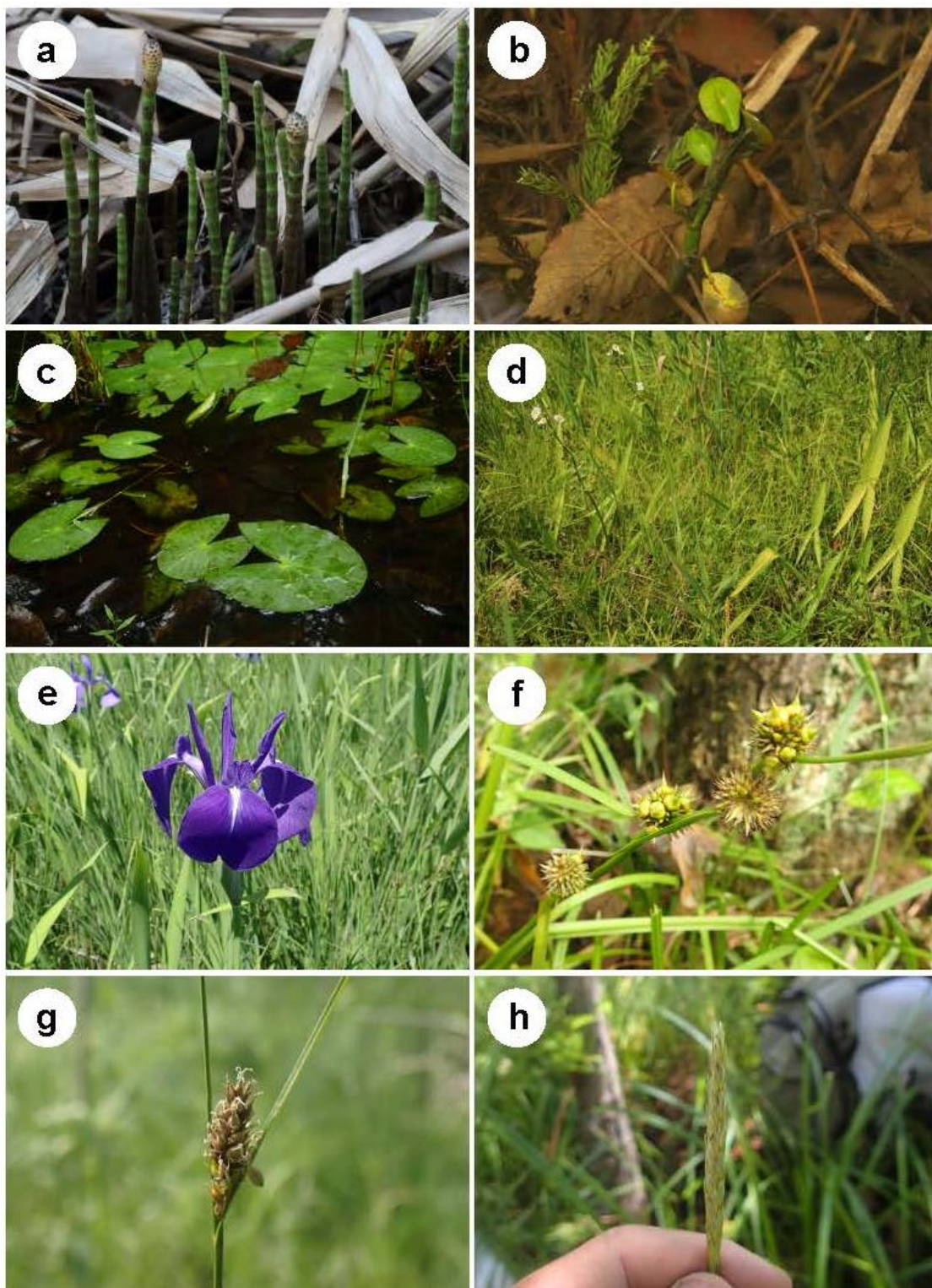
- (1) 五十公野丘陵の植物相（林道、湿原の踏査）
- (2) 絶滅危惧種の分布（植生調査）
- (3) 光環境と植生の関係（相対照度、樹冠開空度）

3 調査結果

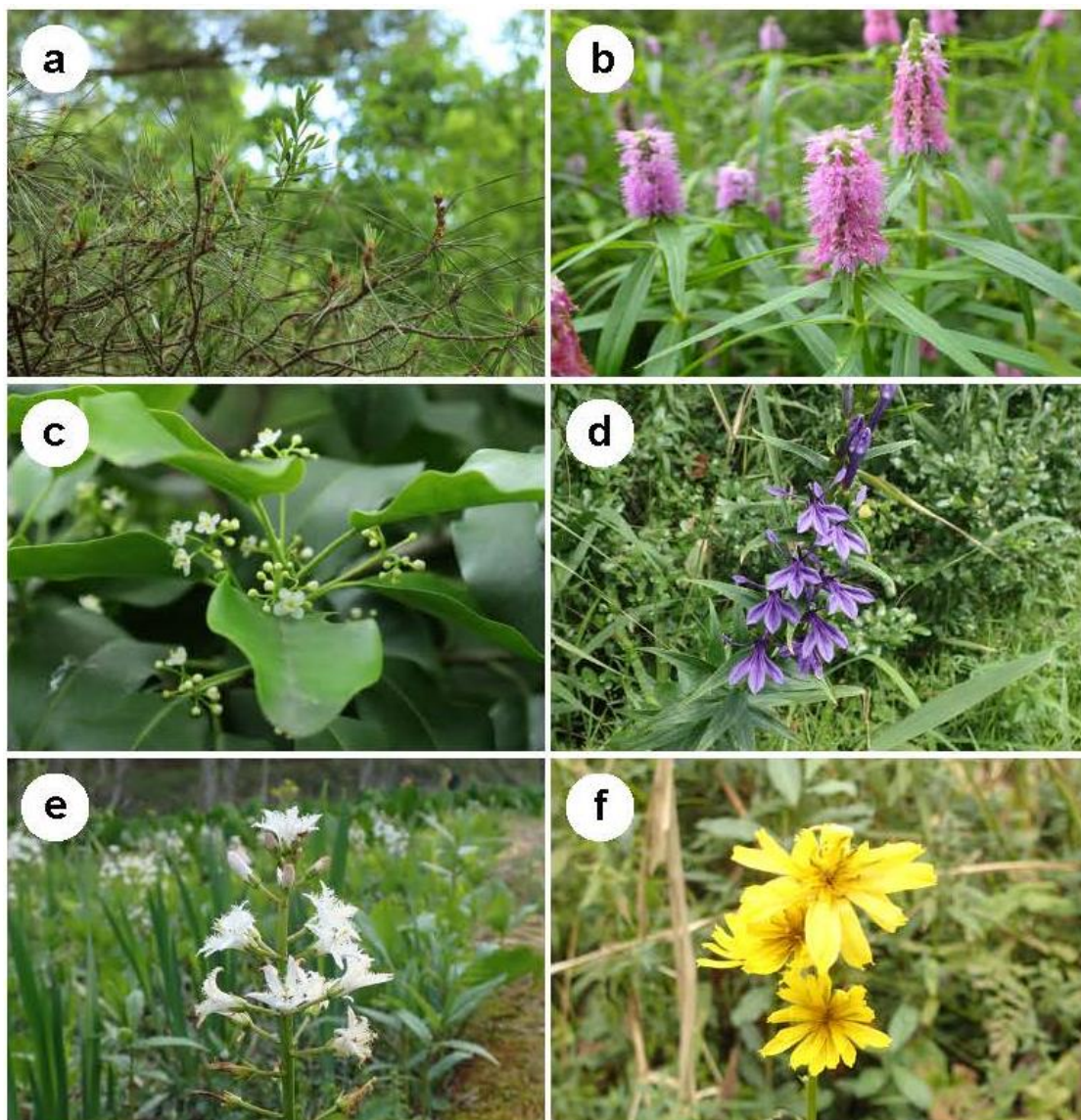
- (1) 五十公野丘陵の植物相
絶滅危惧種（新潟県レッドリスト）・水生植物が減少している
【湿原周辺の環境の悪化を示唆】
- (2) 絶滅危惧種の分布
種によって湿原の全域・局所的に分布している【湿原とその周辺の保全が必要】
- (3) 光環境と植生の関係
種の多様性に影響する【樹種の間伐が必要（期間・頻度は要検討）】

4 公園の整備及び管理方針の提案

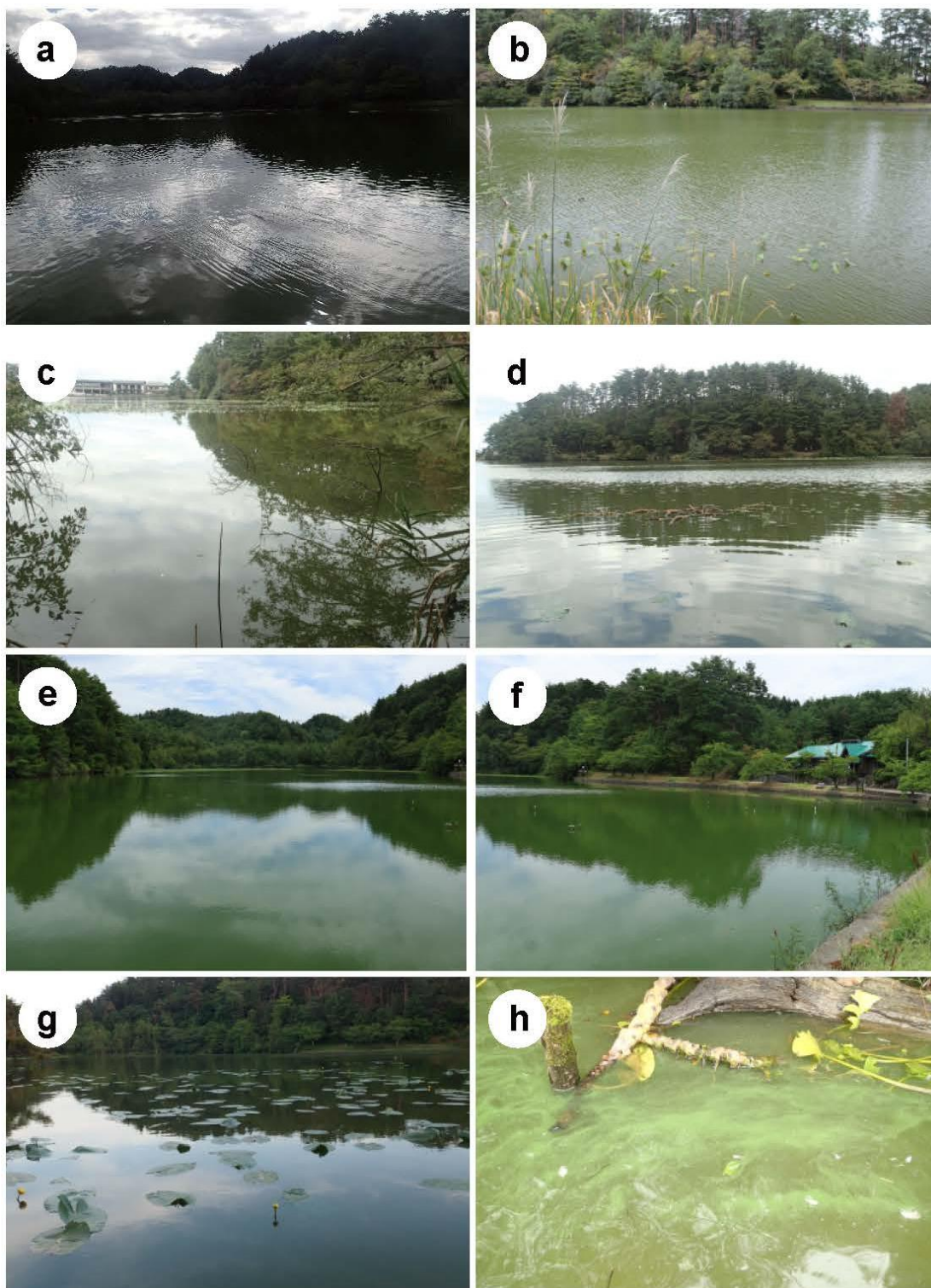
- (1) 湿原内の樹木の伐採
升潟の湿原内に優占する樹木（特にハンノキ）を一定の割合で伐採する
- (2) 湿原内の木道の改修
 - ・ 自然への理解や自然保護に対する意識を高めるため、湿原を観察できる場所を提供する
 - ・ 湿原内の光環境の向上を図る
- (3) 升潟の水域の環境改善と水生植相の復元
水質改善と水生植物復元の方策を検討する



付録 1. 五十公野丘陵で確認された絶滅危惧種 (1). ミズドクサ (a). ジュンサイ (殖芽) (b). ヒツジグサ (c). アギナシ (d). カキツバタ (e). ヒメミクリ (f). ムジナスゲ (g). カモノハシ (h). 各写真はそれぞれ 2023 年 4 月 3 日 (a), 4 月 29 日 (b), 5 月 12 日 (e), 6 月 8 日 (g), 7 月 20 日 (c), 9 月 2 日 (d), 9 月 24 日 (h), 10 月 8 日 (f) に撮影した.



付録 2. 五十公野丘陵で確認された絶滅危惧種 (2). マツグミ (a). ミズトラノオ (b). ソヨゴ (c).
 サワギキョウ (d). ミツガシワ (e). オオニガナ (f). 各写真はそれぞれ 2023 年 4 月 20 日
 (e), 6 月 3 日 (a, c), 9 月 2 日 (d), 9 月 29 日 (b), 10 月 22 日 (f) に撮影した.



付録 3. 升潟の解放水面の様子. 水生植物調査での定点写真 (a, M04; b, M08; c, M20; d, M28).
 湖水が緑化した升潟 (e~f). コウホネ群落 (g). アオコ (d). 各写真はそれぞれ 2023 年 5
 月 27 日 (g), 9 月 2 日 (e, f), 10 月 22 日 (a~d, h) に撮影した.



付録4. 升潟湿原内の様子（2023年6月3日撮影）。湿原内を横切る木道（a）、升潟の解放水面との境界付近（b）、木道周辺の様子（c～d）。各写真は2023年7月25日に撮影した。